

令和 3 年 11 月 10 日

諏訪市長 金子 ゆかり 様

諏訪市総合計画審議会
会長 岩波 寿亮

第六次諏訪市総合計画策定について（答申）

令和 3 年 6 月 3 日に開催いたしました、第 1 回諏訪市総合計画審議会において諮問された第六次諏訪市総合計画基本構想及び基本計画について、当審議会において慎重審議を重ねてまいりました。ついては、下記及び別添の計画(案)のとおり答申いたします。

記

第六次諏訪市総合計画(案)は、各分野の団体代表や公募市民で構成されている当審議会委員からの意見を踏まえたものとなっています。また、令和 2 年度に実施された市民職員ワークショップ、小中高校生との意見交換、市民アンケート等に加え、令和 3 年度に実施した市政懇談会及びパブリックコメントを通じていただいた市民意見についても計画策定に反映しています。

今回、将来像を「魅力の架け橋 高原湖畔都市 ～シゼンとヒトがつながる、すわ。～」としています。今ある魅力を磨き上げる、魅力同士がつながり新たな魅力が生まれていく、魅力が高まる、そんなまちを目指していく必要があります。

その実現のために 6 つの実現すべき重点目標を設定しています。稼ぐ地域、働ける地域を生む「充実したしごとの創出」をすることで、人の流れが諏訪市に向き「人と投資を呼び込む」地域となります。地域の人々が、人生のどのライフステージにおいても希望を持てる「みんなに愛のあるライフステージ実現」が可能となる取組をすることでまちに活力が生まれ、安心して日常をすごせるための「気持ちいい、心地いいまちづくり」が実現する。技術革新やSDGs等の新たな考え方を取り入れ「新たな時代への対応」をしていくことで、更なる「充実したしごとの創出」につながり、結果的に諏訪市という「地域ブランド価値の向上」を実現するというものです。

これは行政だけではなく、住民、事業者、関係団体が共有・協力し力を合わせて実行に移していくことが重要です。

答申内容については、十分に尊重していただき、将来像の実現に向けて着実に取組んでいただきますようお願いいたします。